

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年 3月 31日

事業所名 学び舎with 梓川教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		目安となる数値よりも広いスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法定基準以上の配置をしております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関段差はあるが、室内はバリアフリーになっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		正規・パートそれぞれが参画でき、風通しのよい環境ができるように努めています。	その都度行っていた為、定期的な日程確保などは今後検討していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている				開所1年未満の為、今回が初めての評価表である。その為今後業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している				今回が初めてである為、公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価の機会は現状ない為、必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部講師を招いて研修する機会を確保しています。	今後も定期的実施していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントやニーズを開き取り、課題等を作成しております。	児童発達支援管理責任者の分析が主になっている為、今後は指導員の分析も多く取り入れていけるようにしていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自でアセスメントツールは共通のものを使用しています。また外部で発達検査等を受けている児童は情報共有してもらい、参考にさせてもらっています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月どのような活動にするか相談して決めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		様々な内容(SST. 工作. 戸外等)を均等に取り組めるようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期期間中や平日活動時の課題の大きな変化はなかった為、必要に応じて設定して実施していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々に応じて実施しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		正規・パート全職員間で打ち合わせを実施しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		休みの職員にも内容の共有できるように連絡ノートや報告書の共有などで工夫しております。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		気付きの共有・検討・改善を共有し次の支援に生かすように努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		児童発達支援管理責任者が判断しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療的ケア児童の受け入れを実施していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		支援会議に参加し、情報共有できるように努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				学校卒業に伴い、福祉サービスへの移行をしたケースはまだないが、今後あれば情報を書面にまとめる等し提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	活動を一緒に行う機会はコロナ禍によりないが、公園等で交流する機会は設けるようにしています。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や指導報告などで情報共有ができるように努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	ペアレントトレーニングは実施していませんが、相談時に助言等を行わせてもらっています。	
保護者への説明書	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時お伝えさせて頂いております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		必要に応じて実施を計画していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			

員 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	会報は発行していないが、活動内容等は写真等も含め実施しております。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現状事業所での行事はないが、学習塾が併設されている為、地域の中で開放的に運営するように努めています。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		保護者周知は現状出来ていない為、今後できるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			今後も計画を立てて実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部講師を招いて実施しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		やむを得ず身体拘束をするケースは現在はないが、職員研修等でどのような場合に実施するのか等組織的に考えていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			医師の指示書は受け取っていないが、保護者に必ず聞くようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	ヒヤリハットを共有するように努めています。	事例集の作成は実施していない為、今後検討し共有していきたい。